

## 2018年度ユニーク卒論

社会 学部

担当教員名	野瀬 正治
論文執筆者名	片山 花
論文の題 (テーマ)	「日本の医療費と訪日外国人について」 —医療費未払い問題と国民皆保険制度の視点から—
簡単な内容 (概要)	<p>グローバル化が進む中、国民皆保険の日本において外国人への国民健康保険の適用問題が浮上している。すなわち、日本は世界でもトップレベルを誇る高度な保険制度を有している中、外国人医療費について健康保険証の使いまわしや健康保険制度加入直後でも国民と同等の高額保険診療が可能であり、また海外の家族の医療費も保険診療が可能など制度発足時に予測しなかった問題が顕在化している。</p> <p>今後は、医療費の未払い対策はもとより、グローバル化が進む中、国民健康保険制度のあり方の議論や再検討が必要である。</p>
推薦の理由	<p>本年（2019年）4月は、改正入管法の施行により未熟練（単純）労働者の受け入れを新在留資格として運用開始するなど、グローバル化の新たな段階に入った。また、国際的には、すでに各国で移民問題など国の行方を左右する問題として顕在化している。そうした中、日本において外国人と医療費問題は、日本におけるいわゆる「共生」問題の取り組みにおいて、対処していかなければならない具体的問題であり、国民的議論が必要な問題でもある。本論文は、これまでも幾度となく議論されてきた「外国人と共生問題」について、国内でのグローバル化が量的にも進展し国民健康保険制度に影響を及ぼす領域にさしかかり始めたことや共生問題を新たな局面として考えなければならない時代に突入したこと等を示唆している。</p>